

今 TPPを考える集い開催
後の食や暮らし、どう変わる？

6月3日、鳥取大学副学長であるこばやしはじめ小林一先生をお招きし「TPPを考える集い」を南部町公民館多目的ホールで開催しました。TPP参加によって私たちの暮らしがどう変化するかについての講演に、参加した約60名は熱心に耳を傾けていました。小林先生はTPPに関する議論のポイントとして「国内の景気・雇用の回復、生活の向上が実現するのか」「農業・農村を衰退させることなく、食料自給率向上や地域経済の活性化に貢献できるのか」という点をあげられました。講演の中で小林先生は『例外なき関税化』を前提とするTPPにおいては、これらのポイントを実現していくのは困難との見解も述べられるとともに、今後に向けて政策の転換の必要性和、この問題を国民的に議論していくことの重要性を示されました。



講演会の様子



大山乳業のキャラクター・カウイーくんと一緒に記念撮影

父 大山乳業酪農青年部、女子部が牛乳を進呈
の日に牛乳を贈ろう

低迷する牛乳消費の拡大を図るため「父と牛乳(ちち)」という語呂合わせを用いて「父の日に牛乳を贈ろう」キャンペーンを実施している、大山乳業農業協同組合の酪農青年部と女子部のメンバーが6月8日に法勝寺庁舎を訪れ、坂本昭文町長に白バラ牛乳などを贈りました。町内生産者であるにしだたくみ西谷拓実さんからの「ふだん頑張ってるお父さんに牛乳を飲んで、リラックスしてもらいたい」との言葉に坂本町長は「牛乳は大好きです。健康にいいのでみんなで飲んで応援したいですね」と応えました。

こちら地域振興協議会

あみ手間山

野菜苗から深まる地域の絆

てま山農園は、玉ねぎの収穫を終えて次は夏野菜！今年もこばやしちよこ小林知栄子さんより、大切に育てられた野菜苗を提供していただき、5月10日に地域ボランティア、南部中学校ボランティアの総勢41名で植えつけを行いました。長なす・白なす・ピーマン・白菜・キャベツ・レタス…。

順調に育って追肥・敷きワラ等を行いました。昨年収穫後に「頂いた苗でこんなに立派に実りました！」と報告すると、涙を流して喜んでくださった小林さん。野菜苗を通して、多くの方々に笑顔と絆が深まると信じて、日々育っていく苗を見守っていきます。



▲農園の様子(6月8日現在)
▼小林知栄子さん(田住)

天津

母塚山の巨大観音像

天津のシンボル『母塚山』にはこんな伝説があります。古事記に記されている、「イザナギ神・イザナミ神の男女両性の神が現れて、盛んに国生みが始まり、数々の神を生んだ母親神のイザナミは、最後火の神を生んで焼死されたので、出雲の国と伯耆の国との境の比婆山に葬った」その山が母塚山だと言われている。

6月14日、この山の展望駐車場に、高さ6メートルの巨大観音像が建てられました。正面に大山を望み、麓の天津平野を見下ろすその顔は、母親がほほえんでいるような温和な表情で、見る人の心を安らかにしてくれます。

これから新たな天津のシンボルとして、地域の発展を見守っていてほしいと思います。



新たなシンボルができました